

平成30年度東浦町若者会議 第1回開催記録

1 開催概要

若者の発想やアイデアを実際のまちづくりに生かすこと、若者に「まちづくり」に興味を持ってもらうきっかけづくりとすることを目的として、平成30年度東浦町若者会議を開催します。グループに分かれ、東浦町の課題等に対する事業を検討します。

第1回では、グループで取り組む課題を決定しました。

- 日 時：平成30年7月15日（日） 午後1時30分から午後4時まで
- 場 所：東浦町文化センター 視聴覚室
- 参加人数：20人
- 内 容：
 - 1 開会、あいさつ
 - 2 若者会議の趣旨について
 - 3 本日の予定について
 - 4 自己紹介、グループ名決め
 - 5 東浦町の概要、課題について
 - 6 グループワーク
「グループで取り組む課題を決めよう」
 - ①ワークシート記入
 - ②グループで共有
 - ③取り組みたい課題を決める
 - ④発表
 - 7 閉会

2 開催の様子



3 若者会議の趣旨、本日の予定について

若者会議開催の目的や全5回の大まかな流れ、第1回（当日）の内容について説明しました。

<若者会議開催日程・内容>

- 【第1回】 7月15日（日） 午後1時30分から午後4時まで
グループで取り組む課題を決める。
- 【第2回】 8月4日（土） 午後1時30分から午後4時まで
取り組む課題に対する事業のアイデアを出し合う。
アイデアの中から、提案する事業を決める。
- 【第3回】 8月11日（土） 午後1時30分から午後4時まで
提案する事業の具体的な内容を考える。
- 【第4回】 9月9日（日） 午後1時30分から午後4時まで
事業内容を整理し、報告会の準備をする。
- 【第5回】 9月15日（土） 午後1時30分から午後4時まで
報告会を開催し、町職員に対し提案事業を発表する。

4 自己紹介、グループ名決め

中学生から社会人までの参加者を3つのグループに分けました。このグループで提案する事業を検討してもらいます。

まずは、グループのメンバーへ自己紹介をしてもらいました。メンバーの名前を覚えてもらうため、「積み木自己紹介」というゲーム形式の自己紹介をしました。



次に、グループのメンバーの共通点を探し、グループ名を決めました。

●Aグループ ⇒ 半分、白い

グループ名の理由 : メンバーの半分以上が白い服を着ていたから。

●Bグループ ⇒ ぶどう

グループ名の理由 : メンバーの多くが東浦町と大府市在住。東浦町と大府市の特産物がぶどうだから。
ぶどうの頭文字が「B」だから。

●Cグループ ⇒ カントリーマアム

グループ名の理由 : カントリーマアムが好きだから。
カントリーマアムの頭文字が「C」だから。

5 東浦町の概要、課題について

参加者の中には町外在住者もいたことから、東浦町の概要の紹介をしました。概要紹介では、東浦町 PR 動画「どんぴしゃ東浦」の放映をしました。

第1回ではグループで取り組む課題を決めますが、町から4つ課題を提示し、この4つの中から選ぶか、その他グループで取り組みたい課題があればそれに取り組んでもらうこととしました。ここでは、町から提示する4つの課題について、現状等の説明をしました。

<検討課題>

【町が提示した課題】

- ・若者の防災意識向上
- ・自然環境学習の森における保全活動の充実
- ・若者に対する選挙啓発
- ・若者会議への積極的な参加

【その他】

- ・グループで見つけた課題

6 各グループの取り組む課題

各グループで意見を出し合い、今後グループで取り組む課題を決めました。

グループ名 : 半分、白い

●取り組みたい課題

「自分たちのできることから」

●この課題を選んだ理由

選挙などで若者が意見や投票意識を示しても変わる実感がない。他の分野の話題でも言えること。

だから、小さいことでもいいから、自分たちがやれるようなこと、身近なことを話していきたい。

まちの雰囲気や利便性の向上につながることを考えていきたい。例えば、公園の遊歩道に生えている雑草を刈るなど。



グループ名 : ぶどう

●取り組みたい課題

「若者の防災意識向上」

●この課題を選んだ理由

- ・ 少子高齢化の中で、若者の存在が貴重になっている。そんな貴重な若者が、率先して防災を担っていくべき。
- ・ 防災訓練に関する情報をもっと東浦町が発信していく。
- ・ 若者に向けた防災の集まりを充実させる。若者がそういった行事に参加して、地域住民とのつながりを広めていく。
→参加しやすい環境を整備
- ・ 若者と高齢者のつながりを固めていく。
- ・ 消防団の情報も広めて、幅広い人材（女性など）を取り入れる。
- ・ メンバーの中に、実際に消防団に入っている人がいる。
- ・ 回覧板に防災のチラシが入っていても、若者は見ない。
- ・ コミュニティの幅を狭めて、連帯意識を高めていく。（学校のクラブ、部活単位など）
- ・ 消防団の知名度の低さが問題となっている。
- ・ 防災に参加する動機づけを高めていく。



グループ名 : カントリーマアム

●取り組みたい課題

「**自然環境学習の森における保全活動の充実**」

●この課題を選んだ理由

- ・魅力を伝えたい。
- ・若者の利用者を増やす。
- ・産業をやる人が少ない。
→体験する人を増やす。

